

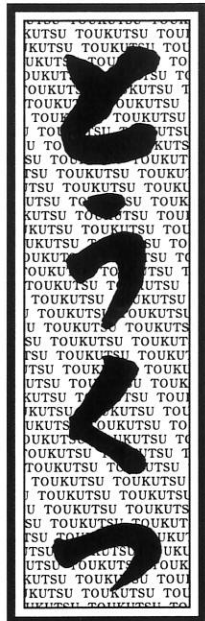
展示会場には、浅草の皮革産業資料館、浦安のリーガルアーカイブス、福山市にある松永はきもの資料館（旧日本はきもの博物館）から靴産業の文化財ともいえる貴重な資料を一堂に集めてある。



浅草文化観光センター

8月18日より30日の間、浅草雷門・浅草文化観光センター7階展示ホールに於いて「Shoe shoe history of Japan」と題し記念展示が開催された。この展示は、西村翁が明治3年3月15日に築地入船町に日本初の製靴工場が開設されて、今年で150年を迎えたことを記念して企画された。

靴の浅草150年記念展示 「Shoe shoe history of Japan」開催



一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656
(9月号)



最優秀賞の手縫い靴

当協会からも、製靴技術競技大会で最優秀賞を得た手縫い紳士靴を出品した。これは戦後復興期に十分な素材や道具もない中で、職人の腕と心意気が込められた名靴だ。



リーガル アーカイブス

又、「空翔る靴アート」のコーナーがあり、若手職人の手による作品が展示されている。



若手職人の作品

更に靴まつりのイベント風景や、初期の展示会の風景、靴のある写真コンテストの応募作品など、懐かしく思い出させる写真も多く展示されていた。



会場には、民俗文化財ともいえる靴も数多く展示され、どれを見ても貴重な靴が並び目を見張った。

シューフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡をお願いします

る。奥にはリーガル工場の作業工程がDVDで放映されるなど、充実した展示内容となっていた。
配布していた冊子には次のような文章が掲載されている。

日本の靴150年
―軍需75年、民需75年―

2020年は、1870（明治3）年3月15日にわが国初の靴工場が誕生してから数えて150年目となる日本の靴産業、靴の浅草にとつて節目の年。その歴史の中間点は1945（昭和20）年の太平洋戦争敗戦の年。前半75年は文明開化・殖産興国・富国強兵のスローガンを背景にした軍需・官需の時代であり、軍靴の生産が産業を支えた。後半は一転、民需の75年。洋装化、ファッション化、グローバル化といった目まぐるしい社会変化・マーケット変化に日本の靴は対応していった。
150年の歴史を振り返った時に感じるのは、靴産業の発展、より良い靴づくりにひたむきに尽くした先人の存在。履いたこともない洋靴づくりに挑戦した江戸時代生まれの若者。西洋に追いつけ追い越せの熱意と努力で靴業創設と製靴技術の向上に取り組んだ明治大正の産業者や靴工たち。敗戦後の国土荒廃の

中、産業復興に取り組んだ軍隊帰りの若者たち。産業近代化やファッション化、国際ビジネス化をリードしたイノベーター。常に「若さ」と情熱が未来を切り開いてきた。

平成から令和へウィズコロナの時代を迎えた日本の靴産業は、75年サイクルの大変革に否応なく取り組むことになった。必死のビジネス・サバイバルはすでに始まっているが、時代時代の節目に現れる「若さ」と「情熱」が変化に対応し、新たな日本の靴を生み出してきた歴史を知ると、現在の、苦難を超えた先に待ち受ける日本の靴の未来が楽しみに思える。どんなシステムで、どんな靴をつくり、日々の暮らしと健康を支える存在になるか―日本の靴の未来は、今、である。

日本靴小売商連盟・

東靴協会会員各位

経済産業省からの周知依頼情報等を転送しますので、メールアドレスをお知らせください。東靴協会HP問い合わせ欄から、情報希望を送信してください。

www.toukutsu-kyokai.jp/inquiry/index.html

2021年春夏のファッションの傾向

アジアリング(株)

2021年春夏は、「エレガンス化(女性らしさ)」と「モード化(新しさ)」が大きなキーワードとなる。

しかし、旧来のエレガンススタイルとは異なり、女性らしいワンピースやスカートに、ベタサンダルやローヒールパンプスを組み合わせるなど、適度にカジュアルな雰囲気を組み合わせるのが大きな特徴。

また、コロナ禍で海外旅行や花火大会、お祭りなど季節を感じる行事の自粛が余儀なくされている。いつもの行事が楽しめないからこそ、ファッション品に旬の季節感を求め、身に着ける事で「気分を盛り上げていきたい」と感じる人が増えていく。

◆レディスシューズの傾向

2021年春夏は空前のサンダルブームとなる。持っていない1足を提案できる大きなチャンスとなるので、今年売り逃した夏のサンダルを計

画的に仕掛けていきたい。

また、エレガンススタイルに合わせるフラットサンダル、モードアレレンジされたベタサンダルなど、旧来のカテゴリーでは見られない新商品をご提案していこう。



モードなベタサンダル

○サンダル

原宿トレンドでの「サンダル着用率」は再び6割を超えようになった。全盛期は7割だったもので、その着用率に迫る勢い。婦人靴ではサンダルから、季節商材の大復活が見られるので、来春夏はしっかりとサンダルで売上を作っていく。

【対策①新しい時代のベタサンダル】

ベタサンダルと言えば、シーズンの末期に売れるカジュアルサンダルの定番と言われてきた。しかし、来春夏は、エレガ

ンスやモードディテールを取り入れた「究極のトレンドサンダル」に生まれ変わる。横ストラップやトング、クロスベルトなどのシンプルでデザインを、高品質の本革で表現するのが新時代のベタサンダル。サンダルはヤングから大人世代まで人気が広がるので、女性らしいエレガンスな雰囲気、ベタを店頭で集めていく。ヤング世代には、本革サンダルの入門編としてベタを提案していこう。

【対策②ヒール&ウエッジサンダル】

エレガンス回帰の流れで、都心ではピンヒール等の王道エレガンスも復活が見られるが、まだ都心中心の傾向と言える。全国的には、チャンキークールでアレレンジされた「シンプルミュールサンダル」などが実売となる。



シンプルミュールサンダル

一方、定番人気だったウエッジは客層が絞られてくるので、ジュート底は少なくし、コルク底や本革巻き底に変更して、よりモードな雰囲気、ウエッジに切り替えていく。

【対策③スポーツサンダル】

多くの靴専門店では、今年も売れ筋の中心がスポーツサンダルとなった。ヤングから派生したブームだが、来春夏はミセス層に広がっていく。ミセス向けでは、足入れの良さや、本革のストラップ使用、女性らしいカラーリング等を重視するので、本革ブランドの提案するスポーツサンダルを強化していこう。



本革のスポーツサンダル

○パンプス

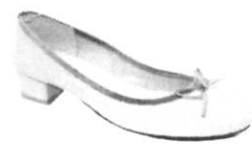
通勤スタイルやコンサバスタイルの多様化に合わせて、よりパンプスの選択肢を広げる事が不可欠となる。

【対策①春色パンプスで店頭を華やかにする】

来春の通勤スタイルは、白やベージュ、ライトグレーを中心としたアースカラーの着こなしが人気となる。そこで、相性の良いパステルカラーを積極的に打ち出して、買い替え需要を狙う。

その中でも、水色やピンク、ラベンダー、ライムグリーン等が一押しカラーとなる。また、盛夏ではより原色に近い

ビビッドカラーに切り替えて、色で季節感を演出していく。



春色パンプス

【対策②オープンパンプスで高単価を狙う】

通勤スタイルでも、サンダル感覚を楽しみたい人が増えている。しかし、トレンドサンダルは、足の露出が非常に高いデザインが一般的なので、通勤で着用するのは難しい。そこで、セパレート(サイドオープン)、オープントウ、バックベルトなどのオープンパンプス(サンダルとパンプスの中間的なデザイン)が大活躍する。適度なカジュアル感が、今の通勤ファッションとも相性が良く、また休日のカジュアルスタイルでも兼用できる点が魅力。高品質の革ブランドがよく売れる。



オープンパンプス

【対策③フラットパンプスは
新ラストで勝負】

一方、フラットパンプス（ヒールが低いパンプス）人氣も確実に広がっている。旬のデザインに加え、一日着用しても疲れない点から、実に幅広い世代で愛用者が増えている。

来春の買い替え対応では、「スクエアラスト（やや角張ったデザイン）」が一押しとなる。シンプルなブレンパンプスも、ラストが変化するだけで、旬のモードパンプスに生まれ変わる。



新ラストのフラットパンプス

○カジュアルシューズ

オックスフォードやローファーなどのトラッド短靴人氣は継続するが、ここでも「素足感覚」や「透け感」がポイントとなる。春先は、踵が潰せる「オックスフォードとローファーを提案し、人氣のスリッパシューズを提案したい。

盛夏に向けては、透け感のあるレースやチュール素材、ナイロンメッシュなどを使用し、素足感覚で楽しめるアレソックスを加える。短靴でも夏らしい涼しげなデザインが喜ばれる。

◆メンズシューズの傾向

メンズでもサンダルや素足感覚シューズを打ち出して、「持つていない1足」を提案する事が必要。レザーサンダルを筆頭に、大人の新しいアイテムをどんどん企画していこう。



素足感覚のローファー

○カジュアルシューズ

まずは、レザーサンダルを新提案。昔のレザーサンダルと異なり、今のアイテムは、足入れも良く、履き心地も大きく改善されている。アッパーの足馴染みもよく、底の返りがよいので男性でも積極的にレザーサンダルを楽しめる。先行ヒットする「フープデイドゥ」を筆頭に、国内企画や国内ブランドを中心に本革で打ち出していこう。



メンズのレザーサンダル

○ビジネスシューズ

短靴では、空前の「ローファーブーム」が到来。ローファーはヤングトレンドから、アダルト世代、ビジカジまで様々な客層に◎。休日用では、ラウンドタイプを提案し、ビジカジではソフトロングノーズがベスト。

履くシーンに応じて、複数買いする男性も出てくるので、様々なローファーを用意する。来春は、ビットやタッセル付きの装飾タイプ、踵潰しタイプ、水色やライトグレー等の春色タイプを揃えて、このブームを店頭で訴求していこう。



メンズのローファー

ウィズコロナ時代では、様々な働き方に対応した、ビジネス靴の提案が不可欠。テラワークも広がったが、しばらくは様々な通勤スタイルを取り入れていくので、多くのシーンに対応できる「汎用性の高さ」「オンオフ兼用感」が求められていく。

そこで、クラシックなアツ

パートと、スニーカーのような履き心地を追求した「ハイブリッドドレス」は更なる進化が必要。ソールのハイテク感に加え、防水、撥水、抗菌など付加価値を高めていこう。

◆スニーカー&キッズ傾向

進化するクラシック、お洒落になった運動靴など、スニーカーは目新しさが必要。また、厚底サンダルやオープンスニーカーなど、この分野でも新アイテムが大注目となる。低価格の定番に頼る事なく、目新しいデザインやブランドを発掘して、お客様の気持ちをワクワクさせていこう。

○大人スニーカー

世界的にダッドスニーカーブーム（厚底スニーカー）はやや落ち着いてきたが、ボリュウム感のある底使い、90年代を彷彿させるハイテク感

は引き続き人気となる。厚底ソールはよりハイテクデザインにシフトし、ハイテクバスケット、ハイカットデザインなど、ボリュウムスニーカーのバリエーションを広げていく。



厚底ハイテクスニーカー

一方、クラシックな雰囲気は「スピルムーヴ」や「パトリック」等の国産スニーカーに移行させ、品質の良さ、本革の楽しさを大人世代に提案していく。

○キッズ（子供靴）

小学生以下のキッズシューズで大注目なのが、アウトドア&お洒落スポーツサンダルである。「テバ」や「キーン」のアウトドアサンダルは親子お揃いで提案したい。

親子お揃いの
スポーツサンダル

また、「フィラ」や「スケッチャーズ」では厚底アレソックスされたスポーツサンダルが、ベビーからジュニアまでヒットする。ここでもサンダルで売上を作っていく。

理事会・支部連絡会

だより

令和二年八月二十五日(火)

午後一時 西村記念ホール

出席者14名

松戸副会長の司会で開会。

始めに会長より「新型コロナウイルスも少し落ち着いてきたと報じられています。3月には今後どうなるのかと不安でした。しかし、高齢者を含め注意がまだまだ必要です。各店舗でも基本の3密を避ける、手洗いやマスクの着用など対応が必要でしょう。その中、今秋の商売の取り組みも大事になってきます。消毒液の利用や、接客時の会話の方法など注意が必要です。改めて今後はネット販売に注力することが大事になるでしょう。もう一度見直し考え直す、良いタイミングでもあるでしょう。」

又、インバウンド客の減少など色々な条件があるのでしょうが、上野の地価が3%ほど下落しました。中にいると分りにくいことも、外部から自分の街を見ると見えてくることもあります。これから、この現象は各地で起こるのではないのでしょうか。今後コロナの影響が多くの分野で起こるのではないのでしょうか。

更に、日本の人口減少も続き、今後、色々なことが大きく変化していくでしょう。消費の傾向も、都心から郊外へ流れが変化するなどの報道もされています。コロナを境にして大きな変化が起こるのではないのでしょうか、注意をしていきたいと思います」と挨拶。議事に移った。

一、70周年式典について

矢代事務局長より報告。先の常務会で表記について検討した結果、11月23日上野精養軒で予定していた70周年記念の式典は、コロナの影響で、年内開催は困難ではないか、との理由で延期をすることとした、今後開催できる環境になるかを含め検討していく、と説明し場内に諮り了承された。

二、「靴まつり」の

実施詳細について

矢代事務局長より、9月に例年開催している「靴まつり」は前回報告の通り進んでいます。ポスター応募はがき等は各支部、店舗あてに配布します、と説明。

三、防災用水及び

手指消毒液配送について

矢代事務局長より、前回報告の表記の品は、手指消毒液は8月28日より、飲料水は9月18日より配送の手配を完了した、と報告。

四、その他

靴業界150周年関連で、記念の展示会が、浅草文化観光センター七階で「シュー・シュー・ヒストリー」と題して開催中です。浅草の皮革産業資料館、リーガルアーカイブス、福山市の松永はきもの資料館(旧日本はきもの博物館)から貴重な資料を集め展示している。当協会からも製靴技術競技会で最優秀賞を受けた紳士靴を提供している。8月30日まで開催していますので、ぜひご覧下さい、と説明した。

又先に配布した記念ピンバッジの第2弾として、クリップで取り付けられるものを皮産連で作成し配布する、と報告した。今後の予定として9月の理事会は中止するが、4日に催事広報委員会、記念誌編集委員会を行う、と説明した。

廃タイヤで

ビーチサンダル

アパレル大手の三陽商会は、傘下のブランド「エコアルフ」で、廃タイヤを再利用して作ったビーチサンダルを発表した。廃タイヤを細かく粉末状にして不純物を取り除いてから、熱でサンダル素材に加工した。耐久性が高く、適度な重さで歩きやすいという。再利用のイメージを覆すため、黄色やオレンジなど鮮や

かな11色を展開。バニラエッセンスの香りを加えた。男性用と女性用がある。いずれも税込価格4,950円。

個人利用だけでなく、プレゼント用の需要を見込む。都内の店舗のほか、公式サイトで購入できる。



廃棄したタイヤを再利用して作ったサンダル(三陽商会提供)

使われなくなったタイヤは埋め立てられるか、海底に沈められることが多い。しかし、金属などの不純物を含むため、リサイクルが難しいとされていた。

エコアルフは環境に配慮した商品で構成するスペイン発のブランド。三陽商会は3月から国内の取り扱いを開始した。(読売新聞より)

靴専門店・大手三社の
直近3か月売上推移

新型コロナウイルス拡大と記録的な猛暑の影響で、外出自粛が再び広がり、売り上げ高は減少した。(チヨダ)

夏休みに旅行や帰省が減少し、都市部や観光地の買い物需要が落ち込んだ。早い新学期でキッズ需要は好調。オンラインも好調。(ABCマート)

外出自粛の影響を受け客数が減少、売り上げ減となった。台風やゲリラ豪雨などで、耐水スニーカーや防水ビジネスシューズが好調。(ジフット)

社名	6月	7月	8月
全社売上	5.7	1.6	-10.8
客数	5.7	-1.5	-9.2
客単価	0.0	3.1	-1.7
店舗数	1033	1031	1021
ABCマート			
全社売上	-0.8	-9.1	-16.0
客数	3.6	-8.2	-15.0
客単価	-4.3	-1.0	-1.2
店舗数	1034	1036	1033
Gフット			
全社売上	-5.5	-12.4	-24.6
客数	-3.5	-10.7	-18.1
客単価	-3.6	-1.9	-7.9
店舗数	870	871	862

東京都中小企業景況調査(7月)

業況：わずかに悪化
見通し：悪化に転じる

卸売業			業況			
対象数	回答数	回答率	7月		今後3か月間見通し(当月比)	
875	393	44.9%	悪い	良い	悪い	良い
			-100	0	-100	0
衣料・身の回り品						
1.男子服						
2.婦人・子供服						
3.靴・履物						
4.かばん・袋物						
5.装身具・身の回り品						

小売業			業況			
対象数	回答数	回答率	7月		今後3か月間見通し(当月比)	
875	321	36.7%	悪い	良い	悪い	良い
			-100	0	-100	0
衣料・身の回り品						
1.呉服・服地・寝具						
2.男子服						
3.婦人服						
4.子供服						
5.靴・履物						
6.かばん・袋物						
7.雑貨・身の回り品						
8.時計・眼鏡						
9.ジュエリー製品						